

# 令和元年度 横須賀西部水産振興事業団

## 事業報告書

### 1 事業の概要

#### 1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるとよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

#### (1) 環境保全事業（定款・第4条-第1項-第1号関係）

##### ア. 海岸清掃のボランティア活動の推進

○6月2日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2019初夏

近隣の家族連れが多く、約180名が参加、荒崎海岸のごみ拾いを行い、ヒラメの放流を体験した。

○8月2日（金）富浦公園前海浜清掃活動

富浦公園前の干潟を守るため、横須賀市と共催で、長井中学校生徒も参加し、アオサ清掃とごみ拾いを行った。

○10月6日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2019秋

近隣の家族連れが多く、約130名参加、荒崎海岸のごみ拾いを行い、カサゴの放流を体験した。マイクロプラスチックの説明も行った。

※上記事業に飲み物、軍手、ポケットティッシュなどを協賛した。

##### イ. 海浜の清掃活動費の援助

第2回理事会において「令和元年度水産振興事業助成金の交付について」協議し、横須賀市の相模湾沿岸海域における良好な海岸環境の保全のために、漁業協同組合による海浜の清掃活動費(海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物の処理)について助成金交付を決定した。

○ 横須賀市大楠漁業協同組合 助成金：600,000円

○ 長井町漁業協同組合 助成金：600,000円

上記に基づき、水産振興助成金の交付決定した団体に対して実施状況の確認等を行った。

※ 長井町漁業協同組合においては、長井地先海岸及び沿岸の見守りや海洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い快適な海岸環境の保全に努めるため、大木根地区をはじめ長井地域の7地区の海岸について漁業協同組合員による海岸の一斉清掃活動が令和元年10月21日に実施された。

令和元年11月19日、要綱に沿った完了届と実績報告書が提出されたので助成金を交付した。

※ 横須賀市大楠漁業協同組合においては、大楠地域の佐島地区をはじめ4地区の海岸について、快適な海岸と漁場環境の保全を図るため、海洋汚染物等の収集、運搬、処理が適宜実施され2月末日に完了した。

令和2年3月11日、要綱に沿った完了届と実績報告書が提出されたので助成金を交付した。

#### ウ. 啓発物品の作成

本年2月、令和2年度の荒崎海岸クリーンフェスタなどのイベントで配布するポケットティッシュ2千個を作成した。

#### エ. 西地区町内会・自治会へごみ袋(45ℓ)配布

当事業団事業として海岸清掃があるが、海岸ごみの70%は陸上のごみが水路や川を通過して集まることから街のごみ清掃にも支援することとし、西地区町内会・自治会44か所、学校を含めごみ袋(45ℓ)8,300枚を配布した。

### (2) 調査研究・保護培養事業(定款・第4条-第1項-第2号関係)

#### ア. 調査研究

○4月5日令和元年度小田和湾藻場保全調査委託(含むアサリ生育調査)をアジア航測㈱と契約し、1月31日に完了した。

○6月1日令和元年度藻場の保全に関する調査業務委託1を長井町漁協と、2を大楠漁協と契約し、3月25日に完了した。

○アサリ調査について

令和元年度小田和湾藻場保全調査の中で横須賀市に協力して、作業に参加している。

長井のアサリ調査作業参加 8/29 10/28 12/10

大楠のアサリ調査作業参加 5/24(大楠は調査終了)

○ワカメ養殖のためのアイゴ対策網の強化に関する調査研究(長井)

平成28年度に実施したワカメ養殖のためのアイゴ対策において、網を

作製して、成果があったがその網を複数回使用できるよう改良し、昨年度利用した。今年度は箇所を増やした。対策網をしていない箇所はアイゴに食われ不漁だったが対策網を張った箇所は収穫が増加した。

(委託費 25 万円)

- 食害生物(ムラサキウニ)等の駆除とその生育に関する調査研究(大楠)  
昨年度に引き続き、ムラサキウニやガンガゼが岩場を占領し、海藻類が壊滅している状況でそのムラサキウニを採取し、キャベツを食用としてウニを養殖するそのシステムを確認し、養殖する施設を設けその生育調査を行った。(委託費 25 万円)

#### イ、水産物の保護培養事業

水産物の安定供給と海釣りなど県民の健全なレクリエーションの振興をめざすため、以下の種苗放流を実施した。

- ・放流種苗：トラフグ⇒10,000尾、・放流実施日：令和元年6月25日(火)

※荻野小学校4年生25名が放流体験した。

- ・放流種苗：ヒラメ⇒8,000尾、・放流実施日：令和元年7月9日(火)

※長井小学校3年生50名が放流体験及び海洋科学高校実習所を見学した。

- ・放流種苗：マダイ⇒8,000尾、・放流実施日：令和元年7月30日(火)

- ・放流種苗：カサゴ⇒8,000尾、・放流実施日：令和元年9月24日(火)

※種苗放流時に大楠は大楠小学校3年生80名が放流体験し、長井は海洋科学高校生徒6名に放流体験をしてもらい、普及啓発活動を行った。

- ・放流種苗：サザエ⇒1,000個、アワビ⇒3,000個

放流実施日：令和元年10月8日(火)(長井地区)

- ・放流種苗：サザエ⇒1,000個、アワビ⇒3,000個

放流実施日：令和元年11月12日(火)(大楠地区)

### (3) 研修事業(定款・第4条-第1項-第4号関係)

本年度、2回の研修会を開催した。

ア、研修テーマ：当事業団主催による「海と魚の講演会」

- ・開催日時：令和元年7月2日(火)14時から15時30分

- ・開催場所：横須賀市西コミュニティーセンター

- ・内容：増やせトラフグ(豊かな海づくりに向けて)

- ・講師：神奈川県水産技術センター栽培推進部長 中村良成氏

- ・対象：一般(参加者20名)

イ、研修テーマ：当事業団主催による冬の「海と魚の講演会」

- ・開催日時：令和2年1月23日（木）14時から15時30分
- ・開催場所：横須賀市西浄化センター3F〈会議室〉
- ・内容：なくそうプラスチックごみ  
(相模湾沿岸の現状と海や魚への悪影響を考える)
- ・講師：公益財団法人 かながわ海岸美化財団 柱本憲一氏
- ・出席者：漁業関係者、横須賀市職員、一般（参加者30名）

#### (4) 広報事業（定款・第4条-第1項-第5号関係）

ア. 広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより(第43号)」を作成し、9月に発行・配布した。また第44号を作成し、3月に発行・配布した。

○発行部数 3,000（無料配布）

※今回も3,000部発行とし、関係機関、学校及び大楠、長井、武山地区の44町内会、自治会に回覧した。

#### (5) 経営安定事業（定款・第4条-第1項-第3号関係）

ア. 漁業経営資金等助成事業

第2回理事会において「令和元年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金の交付について」決議された横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対してその返済のため助成金の交付を行った。

○長井町漁業協同組合 助成額：3,000,000円（9月2日支出）

○横須賀市大楠漁業協同組合 助成額：3,000,000円（10月18日支出）